

日比谷花壇、葬儀大手「セレモア」と提携し、 葬儀プラン商品を共同開発 日比谷花壇デザイン製作の生花祭壇を含む葬儀プラン商品が 5月20日(月)から、セレモアで展開開始

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、首都圏で葬儀サービスを中心に手掛ける株式会社セレモア(以下セレモア、東京都立川市)と提携し、葬儀プラン商品を共同開発しました。日比谷花壇デザイン製作の生花祭壇を含む葬儀プラン商品「日比谷花壇セレモア フラワーセレモニー」として、5月20日(月)から、セレモアにより、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、山梨県で、商品展開が開始されます。

「日比谷花壇セレモア フラワーセレモニー」は、葬儀に必要な物品やサービスがあらかじめ含まれたセレモアパック葬という形態で、洋花を使った生花祭壇の企画・デザイン及び製作を日比谷花壇が行い、葬儀、告別式などの葬儀セレモニーの執行をセレモアが提供する商品です。

ベーシックプラン(86万円)、スタンダードプラン(128万円)、スペシャルプラン(186万円)、プレミアムプラン(238万円)の4タイプがあり、各料金プランの中で、ナチュラルホワイト、フラワーガーデン、スタイリッシュの3タイプの異なるイメージから、日比谷花壇企画デザイン・製作の生花祭壇を選ぶことができます。

「日比谷花壇セレモア フラワーセレモニー」で提供する生花祭壇は、バラをはじめとする洋花や葉物、枝を用いて、花全体の姿や茎の動きを活かした、優しさや繊細さが強調され空間美を感じさせる祭壇デザインです。

今回の提携により、葬儀におけるセレモアの強いブランド力・サービス力と、当社のデザイン技術力、装花演出力の、両社の強みを生かし、安心してご依頼いただけるより満足度の高いサービスを提供していきます。さらに当社は、これにより「日比谷花壇のお葬式」の展開と合わせて、葬儀における花需要拡大を目指していきます。

なお、当社は長年手掛けてきた装花のノウハウと、デザイン力を活かし、2004年から個人向けに日比谷花壇のお葬式「フラワリーフェューネラル」(www.hibiya-lsp.com)を展開。花本来のもつ優しさや美しさを活かし、葬儀を執り行うお客様の想いを大切にしながら様々なスタイルの個人葬をプロデュースしています。また2012年からは、葬儀社向けに、装花技術教育プログラム、コンサルティング、装花受託サービスなどを展開しています。

※表記価格は税別。

株式会社セレモアについて www.ceremore.co.jp/company/

1970年に設立、東京都立川市に総本社を置き、東京紀尾井町本社、新宿本社をはじめ、首都圏全域で総合シニアライフサポート事業を展開しています。主要事業の葬祭業をはじめ、仏壇・仏具販売、介護用品等も手掛け、全国で初めて民間救急移送サービスを開始しています。また、都内を中心とした主要な百貨店等に仏壇店と30年以上にわたり業界初となる葬儀相談窓口「セレモピアン」を数多く出店。心からのおもてなし『セレモア品質』を企業理念に掲げ、お客様にご満足いただくためにセレモアの持つ「知識」「技術」「ノウハウ」を提供しています。

株式会社日比谷花壇について www.hibiya.co.jp

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約200店舗を展開。ウエディング装花、直営店舗及びオンラインショップでの個人/法人向けフラワーギフトの企画・制作・販売、お葬式サービス、各種空間装飾デザイン・ディスプレイ、屋内緑化の設計・施工等を行っています。今後も、さまざまな日常の生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。